



YMCA 大阪青年 1.2

2021年1月1日発行
1916年5月1日創刊
発行/小川健一郎
編集/大阪YMCA広報室
〒550-0001
大阪市西区土佐堀1-5-6
Tel 06-6441-0894
Fax 06-6445-0297
URL: <http://www.osakaymca.or.jp>



「体は、一つの部分ではなく、 多くの部分から成っています。」

(コリントの信徒への手紙—12章14節)

新年あけましておめでとうございます。

ひとりの青年が「食事に行こう」と誘い、177年前にYMCAが誕生しました。語り合い、友情の輪を広げ、共に祈って世界中に広がってきました。大阪YMCAは、一人ひとりと出会い、隣の人の声に耳を傾け、「希望を持って、共に生きる社会をつくる」ために歩み続けています。

新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、皆が生活の変化を余儀なくされています。外出自粛が続き、子どもの体力は一時的に低下し、高齢者を中心に、身体や認知の機能が衰え、フレイル(虚弱)に陥るリスクが高まったと言われています。平穏な日常生活を営んでいるように見える人々も、悩みを抱えています。想定を超えた身の回りの変化にストレスを高め、少なくない人が生きていく自信を失っています。

テクノロジーの進化により、コロナ禍においてもオンラインで会議が行われ、学校で

もオンライン授業が導入されています。しかし、大学に入学したもののキャンパスに通うことができず、自宅や一人暮らしの部屋で講義を受け、新しい友人との出会いの機会が少なくなりました。

YMCAは、長年キャンプを通して人間関係づくりに取り組んできました。キャンプ初日にリーダーは積極的に「おはよう!」と声をかけ、参加者の心理的な不安を取り除きます。キャンプでは5~7人程度のグループに分かれ、同じ目線で一緒に話を聞いてくれるコースボランティアリーダーと共に生活する、いわゆる小集団活動を行い、お互いの人格と人格との出会いが生まれ、人間関係を育んできました。

私たちは、YMCAが長年培ってきた力を活かしてこの困難に向き合いたいと思います。それは、人間関係を築く取り組みであり、Spirit(精神)、Mind(知性)、Body(身体)の三つが調和した全人的な人間の育成をめざしている視点、愛と赦しのキリスト教

の価値観です。これを実施する手段は、乳幼児から高齢者までの多種多様なYMCAの事業です。

私たちは、社会の痛みを知り、誰とどのような解決に向けての歩みを進めるのかが問われています。テクノロジーの活用は今までできなかったことを可能にし、一方、リアルな体験は価値を新たにされています。創造力を活かして何が求められているかを考え、専門家やボランティア、行政や企業、国内外のYMCAと共に希望を語り、新しい挑戦をする年にいたしましょう。



英文は
こちらから



大阪YMCA
総主事

おがわけんいちろう
小川健一郎

■大阪YMCAの使命

大阪YMCAは、聖書に示されたイエス・キリストの愛と奉仕の生き方に学び、YMCAの世界的な運動に連なり、希望を持って、共に生きる社会の実現をめざします。

- ボランティア精神はくみ、互いに協力し、明るくあたたかい地域社会の形成に努めます。
- すべての世代の人びとが、出会いと生きがいを見いだすための、生涯にわたる気づきと学びの活動を展開します。

- 未来を築く力強い子どもたちを、家庭・地域社会と共に育てます。
- 生命を尊重する心を養い、自然と人間が調和する働きをすすめます。
- 世界の人びとと力を合わせ、環境、人権、貧困の課題に取り組み平和で公正な世界をめざします。

〇〇×キャンプ=次の時代へ ~YMCAキャンプ100記念シンポジウム報告~

キャンプ100シンポジウム実行委員 **林 健児郎** はやしけんじろう

11月7日(土)、「〇〇×キャンプ=次の時代へ」をテーマにYMCA キャンプ100記念シンポジウムをオンラインで開催し、全国から400名以上の方にご参加いただきました。大阪YMCAが1920年に六甲山麓南郷山で実施した日本で最初の組織キャンプから100年。先の見えないVUCA*の時代に入ったといわれる今、キャンプには何が期待され、どのような役割を果たせるのか。また、現代社会の課題を捉え、未来に向かってキャンプで何ができるのか、その可能性を見出す機会として、各分野でご活躍の方々をお招きして一緒に考えました。

多様な視点からの話の要点をまとめると、体験から学ぶ力、小集団の中で生じる様々なコンフリクトをマネジメントする力、課題解決から学ぶ力などを身につけることがキャンプに期待されています。ICTとの融合がそれらの力をより伸ばすこと、キャンプを実践してい

くYMCAの役割と社会的責任がますます高まるということです。社会の様々な分野の人と連携することで、社会課題に向き合うキャンプが広がり、キャンプの可能性が広がることを認識し、101年目からの歩みを進めていきたいと思います。

*VUCA(ブーカ)とは、Volatility(不安定さ)、Uncertainty(不確定さ)、Complexity(複雑性)、Ambiguity(不明確さ)という4つのキーワードの頭文字から取った言葉



パネリストの廣田康人さん(株式会社アシックス代表取締役社長COO/写真左端)と岡田昭人さん(東京外国語大学大学院総合国際学研究院教授/写真右)

大阪YMCA大会2020をオンライン開催しました

大阪YMCA大会実行委員長 **本多 勝弘** ほんだかつひろ

今年度の大阪YMCA大会は、新型コロナウイルス感染拡大防止のためオンラインで開催され、約200名の方が参加されました。岩坂二規会長にインタビュー形式でお話を伺い、コロナ禍における大阪YMCAのこれからの歩みやビジョンについて再認識する時を持ちました。続いて、会員表彰と留学生へのYMCA国際奨学金の授与が行われ、奨学生を代表して台湾出身のウェン グァン ジュンさんによる感謝のスピーチがなされました。コロナ禍でも学びに対して前向きな姿勢が伝わってきました。

また、各事業部より動画での活動報告が行われ、医療従事者をはじめとしたエッセンシャルワーカーへの感謝を込めたメッセージ動画や全国YMCAリーダー研修会、新たに開設されたインターナショナルハイ

スクールの土佐堀キャンパス紹介などが報告されました。さらに、事業部間の共創で実施された「リモート体操」をリアルタイムで行い、オンラインの参加者とともに体験しました。コロナ禍でもYMCAは、「ポジティブネット」を創る働きとして様々なことに取り組んでいることを皆で共有する貴重な機会となりました。

感染が再び拡大傾向にある今こそ、大阪YMCAに集う一人ひとりが共に助け合い、励ましあい、YMCAが大切にしている想いを分かち合いながら、これからも歩んでいくことができることを願っています。



司会の本多勝弘さんと山田弥子さん(松尾台こども園スタッフ)

大阪YMCA 第1回グランドリュニオンを開催しました

YMCA総合研究所 グランドリュニオン担当 **杉村 徹** すぎむらとおる

ボランティアや学生として大阪YMCAに集っておられた方々が、一同に会する機会を持ち、思い出や近況を語る中で笑顔が伝わり、人と人のつながりが再び生まれ、深まることを願って、11月28日(土)の大阪YMCA大会後に開催しました。

前日までの申し込みは80名ほどでしたが、開催時にはなんと250名もの方々にご参加いただきました。本当にありがとうございます。

した。また一部の方には開始から1時間以上お待ちいただくこととなり、大変申し訳ございませんでした。

開会後は、まるで昨日も会っていた!かのようにすぐにお話が盛り上がり、笑顔が広がり、「久しぶりに会うことができ本当に楽しかった」という声を多くいただきました。またYMCAへの熱い思い、期待の声もたくさんお寄せいただきました。重ねてお礼申し上げます。

次回は2021年5月29日(土)の創立記念礼拝と同日に開催を予定しています。ぜひご参加ください。



大阪YMCA日本語教育センター開設

大阪YMCA日本語教育センター スタッフ **鈴野 利亜** すずのりあ

大阪YMCAは、日本語教育プログラムを開始してから51年目に当たる2020年4月に、大阪YMCA日本語教育センターを開設しました。外国人の受け入れが加速する中、留学生以外の日本語学習者が増加しているのを受け、(1)新たな日本語プログラムの開発・支援、(2)日本語教育人材の養成・研修、(3)教材の開発・研究に取り組んでいます。

9月から本格的に活動が始まり、主に現職教師を対象に、「日本語教師のためのじっくり学ぶ講座」や「日本語の教え方オンライン8週間講座」『テーマ別中級から学ぶ日本語』を使った中級の指導、大阪府教育庁受託の識字・日本語教室のための中級よみかき教材作成などを

行っています。また、大阪YMCA国際専門学校国際学科(インターナショナルハイスクール)での新たな日本語教育プログラムの開発など、大阪YMCAの他事業との連携にも努めています。日本語教育でお困りのことがあれば、日本語教育センター(TEL:06-7669-1133)にお問い合わせください。



活用しているテキスト『テーマ別中級から学ぶ日本語 三訂版(研究社)』

ボランティアスクエア活動報告 ~アジア学院大阪研修受け入れ~

南(天王寺会館) 副館長 **小西 雄希** こにしゆうき

アジア学院は栃木県西那須野にあるアジア・アフリカ・太平洋地域の農村指導者を育成する施設として、有機農業による農場運営を通して、リーダーシップ養成を行っています。その学びの一環として、大阪での研修受け入れを大阪YMCAで実施しています。

例年、ホストファミリーとの生活体験を通して日本文化に触れたり、釜ヶ崎等へのフィールドスタディに出かけたりしていますが、今回はコロナ禍のためオンラインでの研修会を実施しました。世界の人が抱く日本のイメージは、「豊かな先進国」です。一方で、経済発展の影にある貧困などの問題は依然として山積しています。本当の豊かさとは何か? 持続可能な開発とは何か?等をテーマに、多様な価値観を日本人参加者とアジア学院の学生と共に考える豊か

な時間を持つことができました。「#はなれていてもつながっている」。コロナ禍にあっても、40年以上のつながりを今年も継続できたことに感謝を持ってご報告いたします。

次回に向けてプログラムの準備ボランティア、ホストファミリーを募集しています。皆さんのご参加をお待ちしています。



「障がい児・者支援プログラム」のファンドマスクにご協力ください!

この度、チャリティーランのナショナル・スポンサーである三菱商事株式会社様から全面的なご賛同とご理解を得て、全国共通のマスク「はなれていてもつながってマスク」(以下、「マスク」と「マスクケース」を、「障がい児・者支援プログラム」のファンドマスクとして作成、使用することになりました。つきましては、1口500円のファンドとし、「マスク」と「マスクケース」(各1枚)をお渡しいたします。

※マスクのカラーはライトグレー、男女兼用。サイズはMのみ。スポーツタイプ、抗菌仕様、プロスポーツ選手も使用する高性能・高機能マスクです。



【お問い合わせ先】
大阪YMCA各事業所、
大阪YMCA統括本部ファンドマスク係
(06-6441-0894)

「いじめのない世界をめざそう」YMCAピンクシャツデー2021

大阪YMCAは、全国及び海外のYMCAと共に、「いじめ」に自分事として向き合い、社会全体で解決をめざして共に考え、行動するためにピンクシャツデー(PINK SHIRT DAY)に取り組んでいます。

新型コロナウイルス感染症への不安や恐怖は、人々の心や社会に差別や偏見をもたらしています。YMCAは、この差別や偏見、そして分断ではなく、誰もが安心して暮らせる多様性を認め合う社会をめざして、各地域の諸団体・企業や行政などと協力・連携し、推進力を強めながらより広く展開し、実効性のある取り組みへとつなげていきたいと考えています。

ピンクシャツデーに向けて、YMCA全体をピンク色のアイテムで飾ったり身につけたりすることで、いじめについて考えることをアピールします。ご賛同いただけるみなさま、事業所ごとに取り組む啓発活動にご協力・ご参加をお願いします。

具体的な活動は、Facebookにて発信・報告してまいります。

<https://www.facebook.com/ympapinkshirtday/>

ピンクシャツデー2021
2021年2月24日(水)

※取り組み期間 2021年2月1日(月)～2月28日(日)



ピンクシャツデーとは

2007年、カナダでピンクのシャツを着て登校した少年がいじめられました。それを見た2人の生徒が50枚のピンクのシャツを友人・知人に配り、翌日登校します。学校では呼びかけに賛同した多数の生徒がピンクのTシャツを着て登校。学校中がピンクに染まり、いじめが自然となくなったそうです。そのエピソードがSNS等で世界中に広まり、今では70カ国以上でいじめに対する活動が行われています。カナダで最初にこの出来事があった日が、2月の第4水曜日でした。それ以降、2月の第4水曜日には私たちもいじめについて考え、行動する1日としています。

自立支援セミナーご案内

インターネットやゲームに熱中するあまり生活に著しい支障をきたす、いわゆる「ネット依存・ゲーム依存」が子どもたちの間に広がっています。これらの現状や対応について、神経精神科医師の片上素久先生(大阪市立大学医学部附属病院神経精神科医師)とサポートクラススーパーバイザーの竹田契一先生(大阪教育大学名誉教授)にお話しいただきます。新型コロナウイルス感染防止の観点から、会場での受講とオンライン受講をお選びいただけます。



日時 2021年2月14日(日) 13:00～17:00

参加方法 オンラインと会場の同時開催
(大阪YMCA会館 2階ホール)

会場定員 先着100名

参加費 2,000円

詳細は右記QRコードを参照ください。



大阪YMCA早天祈祷会

■第329回 日時...2021年1月15日(金) 7:30～8:15
※朝食会はございません。
証し...^{ふるやかつゆき}古谷 佳之 さん
(大阪YMCA国際専門学校 日本語学科長)
場所...大阪YMCA会館 10階 チャペル

■第330回 日時...2021年2月19日(金) 7:30～8:15
※朝食会はございません。
証し...^{つだあさお}津田 晃男 さん
(土佐堀事業長)
場所...大阪YMCA会館 10階 チャペル

会員・賛助会員としてのご協力に 感謝申し上げます。

2020年11月度報告・敬称略

【新規会員】

井関 美潮
上野 由貴
堀田 寛人
宮前 瞳
吉田 育美

【継続会員】

猪瀬 正雄
岡田 美奈子
岡田 里佳子
越野 滋明
清水 誠治郎
白山 楓華
神保 美保子

武田 龍一
寺本 麻理菜
中井 翔太
入交 亜美
原 寛
松村 真心子
盛 光希

【継続賛助会員】

株式会社亀井組

大阪YMCAのホームページで
その他の情報をご覧いただけます。

